

第1回

英語の世界に親しもう

講師

阿野 幸一

◇◆◇ 今回の目標 ◇◆◇

第1回は、どうすれば英語でのコミュニケーションがうまくいくのか、日本人が間違えてしまいやすい会話例を紹介し、失敗の原因を考えます。

日本語とは違う英語の特色やニュアンスを知ることは、これからの学習の助けとなるだけでなく、英語の世界に親しむ第一歩です。

さあ、いっしょに1年間、英語によるコミュニケーション力を身につけていきましょう！

1 スキットの内容から



の箇所は、何と云えばいいのか？  
考えてみよう！

At the restaurant



高校生の Yumi と Kenji は、メニューにある料理を注文しようとしています。注文した後、フライドポテトも食べたくなったのですが…。

Yumi : わたしはパスタかな？

Kenji : いいね！ぼくはステーキ。

Sindy : Hello there! May I take your order?

Kenji :  (ステーキと、パスタを英語で注文)  
ポテト食べない？

Yumi : いいね、ポテトたのもうよ。

(フライドポテトを英語で注文)

## In the classroom



Harris 先生の英語の授業前、Eita と Manaka の二人が授業開始を待っていると、先生が出席簿を持って入ってきました。  
なぜか先生は、最後に怒り出してしまいます。

Mr. Harris : Good morning.

Eita & Manaka : Good morning.

Mr. Harris : Who is absent today?

Eita : Rikako is.

Mr. Harris : OK. Huh? (出席簿に記入するペンを探す)

Eita, do you have a pen?

Eita :

(Mr. Harris が携帯電話をいじっている Manaka を見て)

Mr. Harris : Manaka! What are you doing?

Manaka :

## 2 英語と日本語の違い



相手に意味の通じない英語を話してしまうのは、なぜ？  
番組を視て、気づいたことを書いておこう！

.....

.....

.....

日本語でよく使う「すみません」ということばがあります。英語ではどのように表現すると思いますか？  
道を歩いていて肩がぶつかってしまったときの「すみません」は、謝る気持ちを表すので **"I'm sorry."**  
道を聞きたくて声をかけるときの「すみません」は、話のきっかけを作るので **"Excuse me."**  
そして落としたハンカチを拾ってもらったときの「すみません」は、感謝の気持ちで **"Thank you."**  
となりますよね。

日本語と英語は、一対一の対応にはならないので、「何を伝えたいのか」を考えてみるのが大切です！

### 3 学習法 辞書の使い方



番組を視て、参考になったことを書いておこう！

#### 「わたしの辞書活用法」

阿野 幸一

私が高校生の中には、1冊の英和辞典を毎日のように引いていました。単語の意味を調べるだけではなく、発音記号を見て英語らしく発音してみたり、例文を声に出して読んで単語の使い方を調べたり。そうすると、1つの単語が他のどんな単語と一緒に使うことが多いかなどの発見もあって、熟語なども自然と頭に残っていきました。

大学では英英辞典と出会い、日本語訳ではよくわからなかった英単語の、本当の意味がわかるようになりました。また、何かを言いたくて単語が思いつかないときにも、他の英語で伝えることができる表現力も養うことができました。

このときのボロボロになった英英辞典、今でも大学の研究室にとってあります。

辞書の持つ力は無限大、みなさんもぜひ、辞書と仲良しになってくださいね！



#### memo

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

#### 4 状況や場面、目的に応じたコミュニケーションとは？



英語としては間違っていないのに、会話がかみ合わないのはなぜ？  
番組を視て、気づいたことを書いておこう！

memo

.....

.....

.....

.....

.....

これから1年間、みなさんと一緒に英語の学習を進めていくにあたって、忘れないでいただきたいこと、それは「英語はことば」であるということ、つまりコミュニケーションを第一に考えていただきたいということです。

今回のスキットでも、「**Do you have a pen?**」や「**What are you doing?**」という文について考えましたが、ただ文法の形だけを覚えていても、お互いに気持ちを伝え合うことはできないことがたくさんあります。キーワードは「目的・場面・状況」。

それぞれの表現が、どんな**場面**や**状況**の中で、どんな**目的**で使われているのかを考えてみましょう。毎回、スキットの中でいろいろな表現を学習します。

スキットの**登場人物の気持ち**を考えて、声に出して英語を発音してみることも有効な勉強法です。

英語で気持ちを伝え合っている自分の姿を思い浮かべて、楽しく英語の学習を進めてくださいね！

目的外的  
使用禁止